

19H現代社会 05/12/13 3. 地方自治と地域社会 教P136～

★地方自治の基本と原則

- ①直接請求権は、使いにくいものとなっているのではないか。
- ②リコールやイニシアティブが行われた具体例を知りたい。
- ③「首長選挙における政党の相乗り」とは何か。無投票当選とは。
- ④投票率の低下が地方政治にどのような影響を及ぼすか。
- ⑤具体的政策の是非を問う住民投票(レファレンダム)の利点は。
- ⑥住民投票で、政策に賛成が得られなかった場合、首長はどうするのか。
- ⑦これまで実施された住民投票の具体例

★地方自治と中央政府

- ①シビル・ミニマムを実現するための創意工夫とは、具体的にどんなこと？
- ②地方自治体の中で、財政格差はどれくらいあるのか。
- ③自主財源が少ないとどんな問題が起こるのか。
- ④地方が中央とのパイプをもつことによってどんな面が有利なのか。
- ⑤中央政府の縦割り体制とは。
- ⑥自治事務と法定受託事務の具体例。
- ⑦なぜ、市町村合併をすると効率的な地方行政が行えるのか。

★地域社会の現状と住民の運動

- ①住民運動はどんな団体から始まるのか。  
住民運動に対する規制はないのか。住民運動の活発化によって、正当な公共事業に影響が出て、自治体が逆に損害を被り、逆に住民が訴えられるようなことはないのか。
- ②「産業構造の変化や経済の国際化が地域経済に与える影響」とは具体的にどのようなものか。
- ③石川県内の地域興しの具体例は。
- ④住民の政治に対する参加意識はどのように変化してきたか。  
住民が地域社会の活動に参加することで、投票率はあがるのか。
- ⑤住民は、情報公開条例をどのように活用するのか。
- ⑥廃棄物問題などのことを考えると、企業は本当の情報を住民に公開しているといえるのだろうか。
- ⑦オンブズマン制度について  
現在、どれくらいの地方自治体で実施されているのか。  
石川県内のオンブズマン制度について
- ⑧「地域おこし」と「まちづくり」との違いは？